

Q道の駅設置を問う

A国の動きを見ながら 着実に進める

問 道の駅に対して関心を持っている町民は多い。設置をするという町長の方針は現在も変わらないか。

町長 道の駅については、元気なまちづくりを進める上で必要な施設であると思っている。

問 それにしても町の動きは遅く、執行部では果たしてどこまで具体的に検討しているのか見えてない。国交省との話はどこまで進ん

でいるのか。

町長 今般の、政権交代という転換期の中での事業仕分けの状況や、国交省における22年度予算の大幅な縮減等で、今は先の見えない状態である。

今後、政府の方針を見極め、国の補助の動向を見ながら進めなければならないと思っている。
問 もし基本計画で見込んでいる額の補助が出ないこ

とになったら、道の駅はどうするつもりか。

町長 国の補助の動向によつては縮小する必要がある。今後、国の動きを注視しながら、議員の皆さまを始め、「道の駅整備推進委員会」など関係者の皆さまのご意見、ご提言を聴きながら進めていきたい。

当面は、測量調査の結果をもとに、設置に必要な町のマスタープランの一部変更と地区計画を策定し、実施計画の準備を進めていきたい。

Q大枝小学校を含めた 統廃合を問う

A最大限努力する

問 今年の8月、小学校適性配置検討委員会の答申が出されたが、町長はその内容は適当だと思うか。

町長 結果の内容は小学校1校案であり、適当なも

のであると考えている。

問 答申の内容は、藤田小学校の校舎を使って平成24年度に1校にするということだが、大枝小学校に関しては極めて難しいとして

いる。何としても大枝小学校も一緒に統合するとうう考えで臨むべきと思うが。

町長 そのようには私も考えているが、町立と違う組合立であり、大枝小学校組合議会、大枝小学校教育委員会、その後ろに伊達市と国見町があるという特殊な条件がある。町としても最大限努力するが、大枝小学校組合議会議長である東海林議員にも特段の後押しを願いたい。



東海林一樹議員



県内唯一の組合立である大枝小学校